

## ▼アブラキサン点滴静注用 [注]

【重要度】 【一般製剤名】 パクリタキセル paclitaxel 【分類】 抗悪性腫瘍剤

【単位】 ▼100mg/V

【常用量】 1回 260mg/m<sup>2</sup> (体表面積) を30分かけて点滴静注 [20日休薬] を1コースとして投与を繰り返す

【用法】 生食で調製

【透析患者への投与方法】 慎重投与 (1)

【保存期 CKD患者への投与方法】 慎重投与 (1)

【特徴】 乳癌に適用。水に極めて難溶なパクリタキセルを人血清アルブミンに結合させる製剤化により、従来製剤の調製時に使用していたポリオキシエチレンヒマシ油及び無水エタノールが不要になった製剤。

【主な副作用・毒性】 ショック, 血球減少, 末梢神経障害, 脱毛, 筋肉痛, 間質性肺炎, 心不全, 消化器症状など多数。

【代謝】 CYP2C8により6 $\alpha$ -ヒドロキシパクリタキセルに、CYP3A4により3'- $\beta$ -ヒドロキシパクリタキセルに代謝され、これら2種の代謝物はそれぞれCYP3A4及びCYP2C8により更に6 $\alpha$ ,3'- $\beta$ -ジヒドロキシパクリタキセルに代謝される (1) 代謝物の活性はあったとしても低い (1)

【排泄】 尿中未変化体排泄率4% (1) で主に胆汁排泄 (1)

【CL】 20L/hr/m<sup>2</sup> (1)

【t<sub>1/2</sub>】 24hr (1)

【蛋白結合率】 93% (1)

【V<sub>d</sub>】 620L/m<sup>2</sup> (1)

【MW】 853.91

【透析性】 除去されないと思われる (5) 資料なし (1)

【OW係数】 該当しない (1)

【更新日】 20170123

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。